

授業科目 公衆衛生学	区分・教育内容		
	専門基礎分野 健康支援と社会保障制度		
授業担当者 大学からの非常勤講師	開講時期	単位	時間数
	前期～中期	1 単位	30 時間
授業の目的 健康の保持・増進のために、社会の中でどのような責務を担ってゆく必要があるのか学び、医療従事者として何ができるのかを考える。			
授業の目標 1. 健康とは何かを説明できる。疾病予防から健康増進に至る理念について説明できる。 2. 諸外国の健康問題、各年代や性別ごとの日本人の健康問題について概説できる。 3. 健康の保持・増進のために必要な自然環境・社会資源を枚挙することができる。 4. 健康の保持・増進のための主な制度や法律、施策を挙げて、その意義を説明できる。			
授業概要 主にスライドを用いて教科書の内容を説明する。			
授業計画(進め方) 1 回目 公衆衛生とは (概念・歴史) 2 回目 健康教育とヘルスプロモーション 3 回目 疫学的方法 4 回目 健康の指標 5 回目 感染症とその予防 6 回目 食品保健と栄養 7 回目 生活環境の保全 8 回目 母子保健 9 回目 医療の制度 10 回目 地域保健 11 回目 学校保健・難病 12 回目 生活習慣病 13 回目 精神保健福祉 14 回目 産業保健 15 回目 まとめ：これからの公衆衛生			
テキスト わかりやすい公衆衛生学 ニューヴェルヒロカワ			
参考書・指定図書 公衆衛生がみえる 2018-2019 第3版 メディックメディア			
評価の方法 筆記試験			